

アメリカにおけるコミュニティ・ガバナンスと社会教育福祉に関する調査報告

I メトロ政府の広域行政システム

II シアトル公共図書館の社会サービス

2012年3月3日

群馬県立女子大学

藤村 好美

本日の報告の流れ

はじめに

I メトロ政府の広域行政システム

- (1) 概要
- (2) メトロ政府の役割
- (3) なぜメトロ政府が必要とされたか
- (4) メトロ政府の組織と運営
- (5) 考察

第 I 部のおわりに

II シアトル公共図書館の社会サービス

- (1) 公共図書館と社会的弱者
- (2) シアトル公共図書館
- (3) 考察

第 II 部のおわりに

はじめに

* アメリカ調査にあたっての問題意識—共同研究との関係で

- アメリカの広域行政とコミュニティ・ガバナンス
- アメリカ都市部における居住環境と社会福祉
- アメリカにおける人種による住み分けという実態と住民自治のパラドックス
- コミュニティの学びの仕組みとしてのサービス・ラーニング

はじめに

* 今回のアメリカ調査(2012年1月1日～1月9日)の概要

- 1シアトル公立中央図書館：ワシントン州シアトル
- 2オレゴン州立大学：オレゴン州コルヴァリス
- 3ポートランド市役所：オレゴン州ポートランド
- 4マルトノマ・カウンティ図書館：オレゴン州ポートランド
- 5メトロ政府：オレゴン州ポートランド

アメリカ調査の概要



I メトロ政府の 広域行政システム

I メトロ政府の 広域行政システム

- * なぜメトロ政府に注目したか



- * 広域行政の発展段階に見るルイビル・メトロとメトロ(オレゴン州)の比較

Regional
Government



Regional
Governance

Consolidation, Multitiered, Linked Complex Public
Function, Networks, Choice

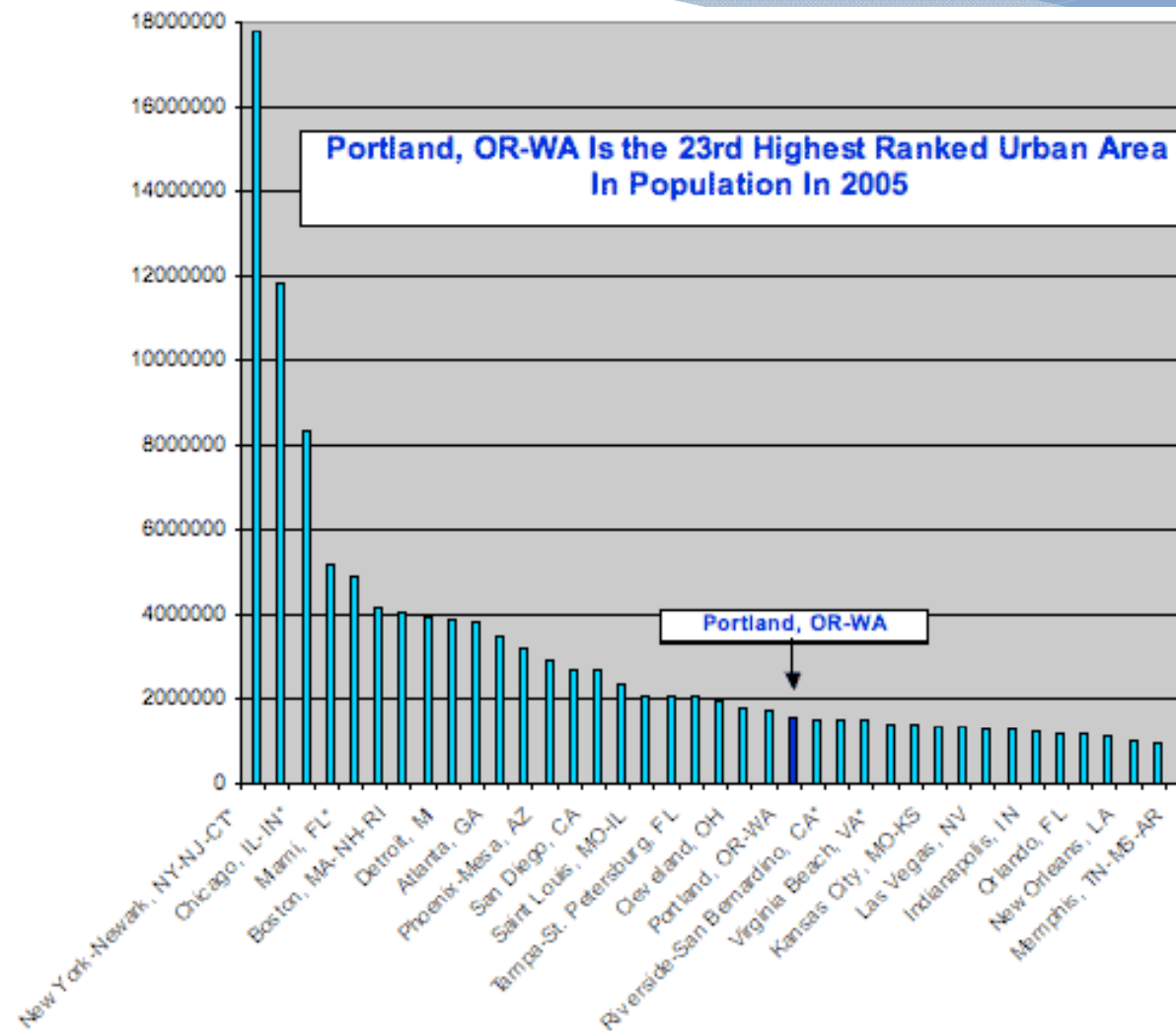
I メトロ政府の 広域行政システム

(1) 概要

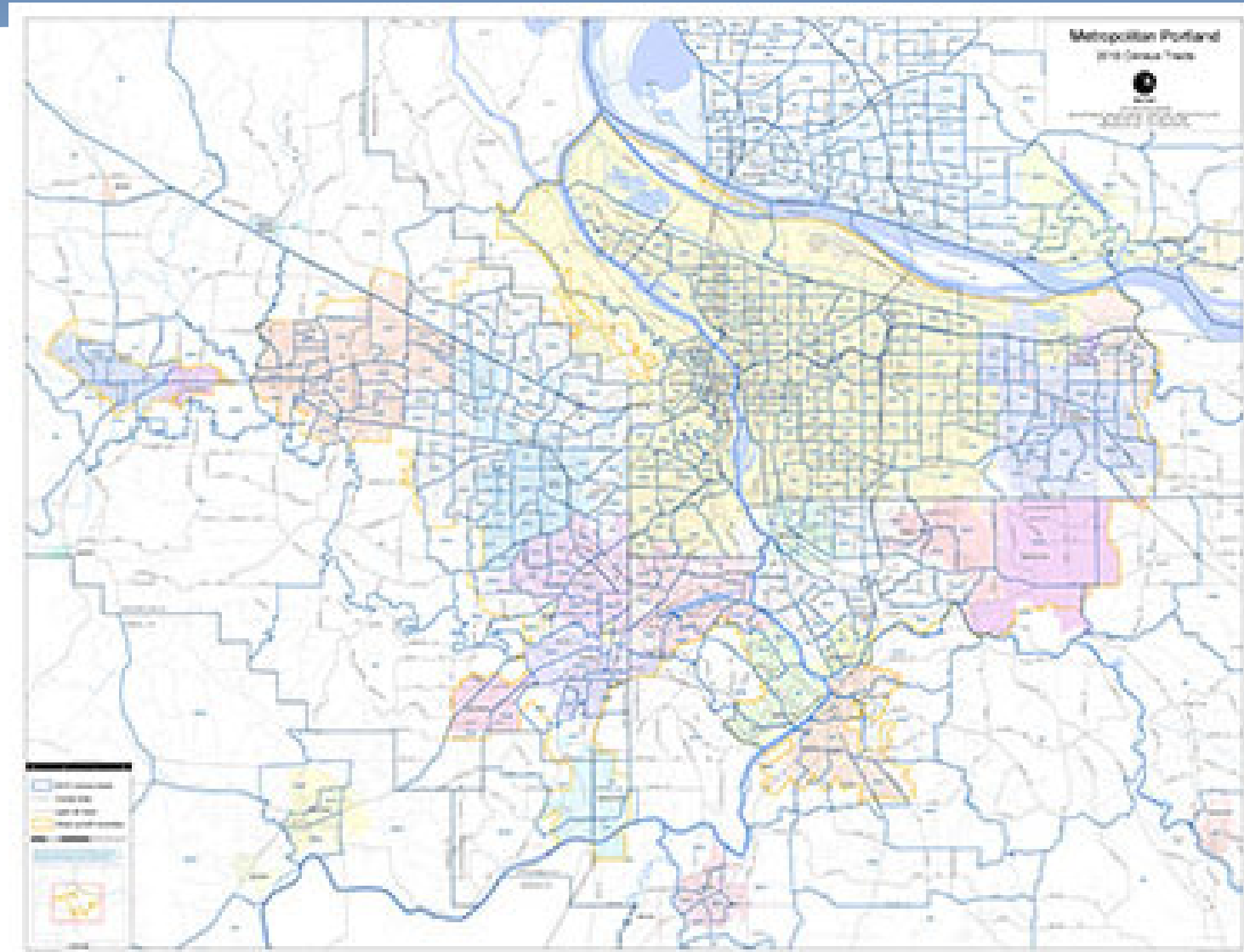
- * メトロ政府は市の境界やカウンティの行政区を越えて、広域のコミュニティの持続可能で活力ある生活を指向する—3つのカウンティと**25の市**から成る地域政府である。
- * Clackamas County, Multnomah County, Washington County
- * Beaverton, Cornelius, Damascus, Durham, Fairview, Forest Grove, Gladstone, Gresham, Happy Valley, Hillsboro, Johnson City, King City, Lake Oswego, Maywood Park, Milwaukie, Oregon City, Portland, Rivergrove, Sherwood, Tigard, Troutdale, Tualatin, West Linn, Wilsonville, Wood Village

I メトロ政府の 広域行政システム

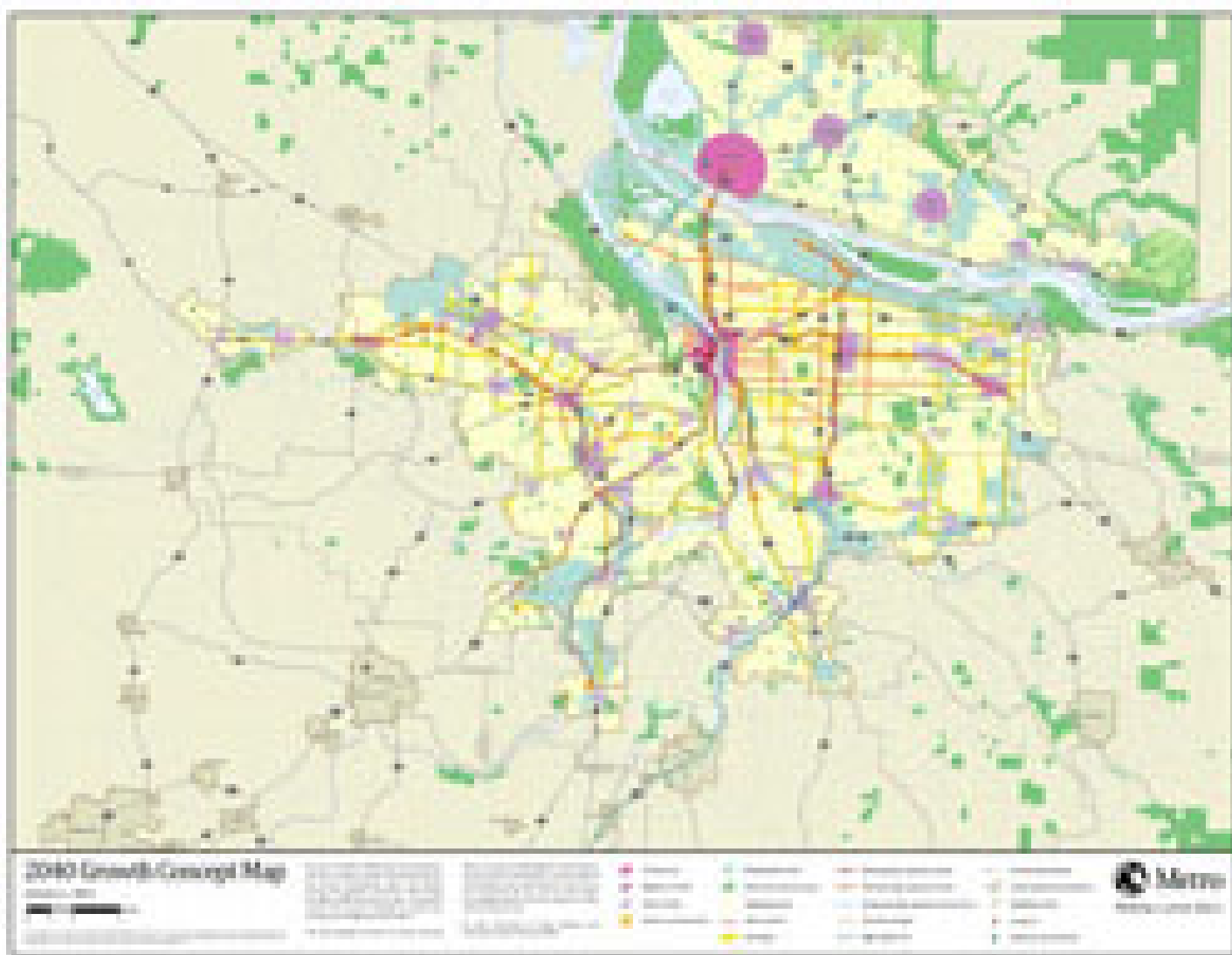
(1) 概要：人口は約150万人



メロの地図(2010年国勢調査)



2040年成長計画地図



(2) メトロ政府の役割

- * 地方政府と連携して、地域の交通機関の整備や土地管理戦略を行う。
- * 都市計画を策定する地域政府
 - 住みやすい近隣地区をつくるように、近隣地区を支援し、公共交通システムを効率的に計画する。
 - 都市の郊外への拡大を防ぎ、コンパクトなまちを維持する。
- * 実際の行政は地方政府が行う。
 - ・・・メトロの計画は強制力はないが、地方政府はそれに従う。

(2) メトロ政府の役割

- * **Metro's Mission and vision**
- * **Our mission is to inspire, engage, teach and invite people
to preserve and enhance the quality of life and the
environment for current and future generation.**
- * **Our vision is to be a leader in civic innovation and
services at a regional scale.**

(3)なぜ、メトロ政府が必要とされたか

—成長管理という考え方—

- * 20世紀初頭のアメリカ—都市化と郊外化
- * 自家用車の普及と郊外への人口移動による都市のスプロール現象→
 - 車優先の土地利用形態
 - 都市問題(都心部の荒廃、都心部と郊外の格差)
 - 環境破壊(農地、森林の乱開発)



都市部の拡張を抑える努力(成長管理)の歴史

(3) なぜ、メトロ政府が必要とされたか —成長管理という考え方—

* メトロ政府の小史(その1)

1925年～スプロール現象によるポートランド地域の荒廃

1957年 都市計画審議会(MPC)による広域連携

1970年 都市サービス地域(MSD)による機能統合

1973年 オレゴン州の土地利用計画制度採択

1978年 都市成長境界線(UGB)が市民により採択

1979年 都市成長境界線施行

MSDとCRAG合併1978年

**メトロの誕生
(新MSD)**



(3)なぜ、メトロ政府が必要とされたか —成長管理という考え方—

- * メトロ誕生の背景＝**リージョナル・ガバナンス**の必要性
- * 1950年代ころより、
 - 行政の境界を超えて、成長、開発、公共政策の計画を策定する必要が生じた。
 - 郊外の土地を都市開発から守る必要があった。
 - 広域に社会サービスを提供することが求められた。

Cf メトロ政府の 広域行政システム

- * なぜメトロ政府に注目したか



- * 広域行政の発展段階に見るルイビル・メトロとメトロ(オレゴン州)の比較

Regional
Government



Regional
Governance

Consolidation, Multitiered, Linked Complex Public
Function, Networks, Choice

(3) なぜ、メロ政府が必要とされたか —成長管理という考え方—

* メロ政府の小史(その2)

1979年 都市成長境界線施行



メロの誕生
(新MSD)

1991年 メロ議会がRUGGOを採択

1992年 正式名称をMSDからメロに変更

メロ憲章が住民により承認

Region 2040 (成長管理計画) 始まる

1993年 市民参加のメロ協議会を承認

(住民自治の強化)

1995年 Metro's 2040 Growth Conceptが承認される

1999年 メロ議会が改正地域交通計画を承認

2003年 新メロ憲章施行(2000年改正)

(4) メトロ政府の組織と運営

* アメリカで唯一、市民の直接選挙によって選ばれる議員からなる議会

* 意志決定機関

◇市民の直接選挙によって選ばれる7人の議員

・6地区から1人ずつ選出される議員

・全域から1人選出される議長

(→ 議会は毎週2回開催)

◇全域から1人選出される監査役 (Auditor)

◇職員(約650人) + 最高執行責任者(COO)

(指名)

* 配付資料をご参照ください。

(4) メトロ政府の組織と運営

- * 6つの目標の実現にむけての**協同作業**
- * 活力あるコミュニティ
- * 経済競争力と経済的繁栄
- * 安全で信頼の置ける交通機関
- * 地球温暖化防止のための取り組み
- * 清潔な水と健康的なエコシステム
- * 成長の利益と負担を平等に分け合うシステム

* メトロが行うこと

- * 地域の粗大ごみの運搬
- * 地域の自然の保全
- * 地域の公園や歩道の開発と整備
- * 会議・展示・演劇のための施設とオレゴン動物園の経営
- * 地域交通計画の認可
- * 地域交通財源の配分
- * 都市計画の策定
- * 都市や郊外にある保留地のカウンティに対する割り当て
- * 都市成長境界(UGB)の管理

* 配付資料をご参照ください。

* メトロが行わないこと

- * ごみ運搬業者の選定やごみ回収代金の設定
- * 公共交通システムの運営
- * ゾーニング
- * 都市再開発地域の開発
- * 開発資金の徴収
- * 地方開発地域の設定
- * 開発に伴う課税
- * ネイバーフッド政府(地方組織)に人口の集中を要求すること(→憲章で禁止されている)

(4) メトロ政府の組織と運営

- * メトロと**地方政府**との関係
 - * 地方の開発、土地利用、交通計画に参画
 - * 自然環境の保護、コミュニティ開発、交通への補助金の付与
 - * 地方の都市計画に関する技術や知恵の貸与
 - * 交通関係の連邦の補助金の配分
 - * 地域のリサイクル計画の支援
- * 公的サービスの役割分担の図をご参照ください。

(4) 外口政府の組織と運営

* 外口の委員会

- * 外口政策諮問委員会(MPAC)
- * 交通合同政策諮問委員会(JPACT)
- * 技術諮問委員会
 - 外口技術諮問委員会(MTAC)
 - 交通政策代替案委員会(TPAC)

* 配付資料をご参照ください。

(5)考察

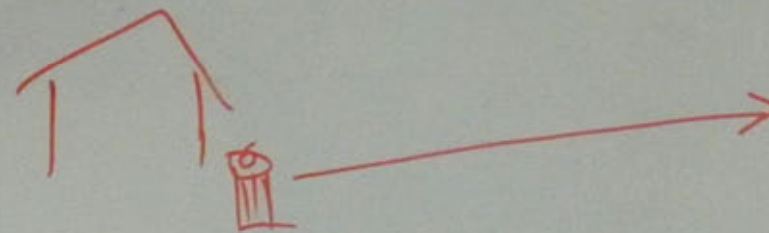
- * メトロの市民参画の仕組み
 - ・市民の直接選挙による議会
 - ・市民参画の委員会
 - ・意志決定の複層化
- * メトロと地方政府の関係＝リージョナル・ガバナンスによる広域行政
 - 統一地方政府をつくるのとは異なる道筋
- ・ コンパクト・シティの実現：徒歩と自転車で行動可能なまちづくり
ポートランド市内の無料公共交通

第 I 部のおわりに

* メトロの組織と運営について、**メトロ政府**の上級広報担当官 (Senior Public Affairs Coordinator) のKen Ray氏に貴重な話を伺うと共に、資料・情報の提供をいただいた。ここに、記して感謝申し上げたい。

* 参考URL

メトロについて詳細はメトロのウェブサイト
www.oregonmetro.govを参照されたい。



2x/month

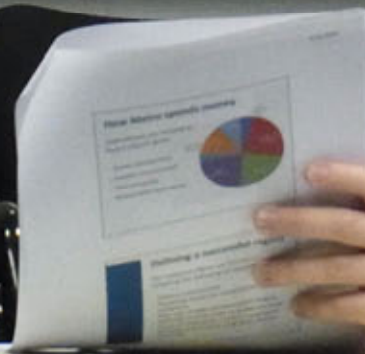
City of Portland

- hauler
- monthly rate
- when picked up

Metro
transfer station

Individual has
"tip" garbage

Metro charges
fee per ton



Ⅱ シアトル公共図書館の 社会サービス

Ⅱ シアトル公共図書館の 社会サービス

- * 社会教育福祉の視点から**図書館の機能**を見るのはなぜか



- * アメリカの図書館の周辺に目立つホームレスの人びと
- * それを難問ととらえるのではなく、社会的弱者を
図書館サービスの対象ととらえる視点



シアトル公共図書館

＜開館時には失業者とおぼしき人の長蛇の列＞

(1)図書館サービスと社会的弱者

- * 公共図書館の機能 = 基本は市民に対する資料の提供
- * 新しい時代の公共図書館の機能(昭和63年)
 - 1 図書資料・情報の提供
 - 2 学習機会の提供
 - 3 図書館資料・情報の収集・保存
 - 4 調査・研究開発

しかし、上の機能に加え、

場としての図書館の姿がアメリカにはある→

顕著な例:シアトル公共図書館

(1)図書館サービスと社会的弱者

* シアトル公共図書館をめぐる論調

- 1 The Seattle Timesの記事から
- 2 Library Journalの記事から
- 3 seattlepi.comの記事(シアトルのオンライン新聞)から

* 配付資料参照

(2) シアトル公共図書館

- * **中央図書館**と26の分館、1台の移動図書館から成る。
- * 資料 約240万冊の書籍とその他の視聴覚資料
- * サービスの対象:シアトル市民(約60万人)
キング・カウンティの市民(約180万人)
- * 職員 640人(常勤に換算すると511人)
- * **中央図書館には、400台のPC(使用料無料)**
- * **// 約100万以上の資料**
- * **// 障がい者の利用を支援するプログラム**

(2)シアトル公共図書館

- * **使命：**生活を豊かにしコミュニティを形成するために人びとが集い、情報とアイデアを共有することを支援する。
- * **指針：**
 - 知的自由の支援
 - 読み書きの力と読書への愛情を促進
 - 利用者の個人情報の保護
 - コミュニティの**全ての人を尊重**
 - 健全なる民主主義の促進
 - 青少年の支援
 - 市民の協同を促進
 - 学習する組織としての職員の研鑽

(2) シアトル公共図書館

* 中央図書館の様々な社会サービス

1 Library Equal Access Program(LEAP): 障がい者支援

2 無料のPCとインターネット、データベースの利用

情報へのアクセスを全ての人に保障

ホームレスの人びとがメール閲覧や職業情報の収集
に使用

3 ESLプログラム

4 社会教育プログラム

5 青少年の読書の間

6 市民の集会の間

7 コーヒーショップと売店

(2)シアトル公共図書館

- * 場としての図書館の機能 = 職員の意識



職員へのインタビューより

- * 市民参画による図書館建設と運営

図書館債の発行(「皆の図書館」債)

数千人の市民による寄付 → 高額寄付者の氏名を
冠する部屋

全米規模のコンペティションによる設計と
館内の多くのアート作品

(2)シアトル公共図書館

- * 実際に訪問して...

- * 開館時刻の午前10時少し前に図書館の入り口付近に行くと、たくさんの失業者らしき人たち(ほとんどが男性)が開館を待っていた。開館と同時に、5階のPCコーナーに殺到する。図書館司書の方の話では、彼らの主たる目的は、Eメールのチェックと就職情報の入手であり、館内の資料の利用とは異なる。

- * 5階のPCコーナーには、失業者やホームレス支援のプログラムのパンフレットが並ぶ。

- ホームレスの人びとの利用について、司書の方に尋ねると、求めがあるサービスを提供するのは当然という答えであった。図書館を人の集う場としてとらえる姿勢が伺える。
- 利用の際のルール(配付資料参照)を守り、秩序ある空間となっている。

(2)シアトル公共図書館

- * 実際に訪問して...
- * ブックスパイラル:4フロアにわたる開架式の書庫がらせん階段状に並ぶ(6~9階)。
- * 1階は子ども用の読書ルームと多言語学センター。
- * 3階は広い「リビング・ルーム」:たまり場的機能、売店
- * 4階には集会場が4室。講義や講演会に活用。
- * 5階のPCコーナーのフロアには、スタッフが常駐し、様々な問い合わせに対応する。
- * 10階には、シアトルに関する貴重な史料や情報が集められ、司書によるレファレンスサービスがある。
- * 館内いたるところにある現代アート作品(建物自体がアート)。





directory

11 administration, human resources, 10am-5pm, mon-fri

10 reading room, seattle room, highest viewpoint

9 history, travel, maps, biography, genealogy

8 arts, music, recreation, literature

7 business, sciences, technology, nonfiction dvds

6 magazines, newspapers

? 5 mixing chamber, library staff help, computers

4 red hall, meeting rooms

3 fifth ave, living room, check-out, coffee, friendshop
fiction, dvds, new books, teens, disability services

2 staff only

1 fourth ave, check-out, holds, library cards, auditorium
children's center, literacy, esl, world languages

P parking

you are here

nonfiction books spiral





CHOCOLATI
Café

directory



Share Your Thoughts!

Join the conversation and share your thoughts on the topics below. We'll be posting your comments on our website and social media channels.

Topics include:

- Climate Change
- Renewable Energy
- Smart Cities
- Urban Planning
- Transportation
- Water & Wastewater
- Health & Safety
- Community Development
- Education
- Arts & Culture
- Real Estate
- Technology
- Business & Industry
- Government & Policy
- International Relations
- Science & Research
- Law & Ethics
- History & Heritage
- Language & Literature
- Media & Communications
- Food & Agriculture
- Environment & Nature
- Human Rights
- Social Justice
- Religion & Spirituality
- Philosophy & The Arts
- History & Heritage
- Language & Literature
- Media & Communications
- Food & Agriculture
- Environment & Nature
- Human Rights
- Social Justice
- Religion & Spirituality
- Philosophy & The Arts

For more information, visit www.gh.org or call 1-800-456-7890.





(2)シアトル公共図書館

- * シアトル公共図書館の社会サービスの歴史

- * 貧困への対応は、今日突如始まったものではない。

例： 1920～30年代の経済恐慌時

「ある者は本を求めてやってきた。ある者は閲覧室に缶詰の鰯のように群がり、就職情報を求めた。ある者は雨露をしのぐために、そして暖かい場所を求めてやってきた。夜はパイオニアスクエアの貧相な所で眠る人々は、昼間は図書館に逃げ込んだのだ。図書館は何も無い人やうちひしがれた人、他に行き場の無い人が集まる場なのだった。」(Marshall, 62)

(3) 考察

- * シアトル公共図書館のみならず、アメリカの多くの公共図書館でも、ホームレス支援は課題となっている。

→ 知への自由、デジタル・ディバイドの解決

- * 学びの場であると共に、逃れる場としての図書館の姿

= 人びとの求めに応じて、図書館が変容した(する)。

それは、図書館の機能論から逸脱したものかもしれないが、日本の図書館にも投げかけられる重い問いかけである。

→ Shelia Ayers, “The Poor and Homeless: An Opportunity for Libraries to Serve”

第Ⅱ部の終わりに

- * 今回の報告では、シアトル公共図書館の提供する社会サービスのごく一部の側面しか触れることができず、また印象的な考察にとどまっている。さらに考察を深めたい。
- * 参考URL
シアトル公共図書館については、www.spl.orgを参照されたい。